

12 月 24 日：VN 指数は反落して終了 (VN-Index -0.19%)

- 本日の VN 指数は前日終値を上回って寄り付いたものの、すぐに不動産・銀行セクターへの売り圧力によって下落を始めた。
- DXG (-6.80%)に対する強い売りが不動産セクター全体に広まり、大型株からもそれを払しょくするだけの下支えを得られずに、その下落幅は徐々に拡大していった。
- しかしながら、後場には買い方優勢の動きが強まって指数を引き上げた。上昇に転じることはできなかったものの、後場は一転して回復基調であった。
- 163 銘柄が上昇、237 銘柄が下落、63 銘柄が変わらずとなった。
- 流動性は大幅に改善。29.2%増の 15.9 兆ドンとなった。

VN30 指数はどうにか上昇 (VN-30 +0.02%)

- 大型株で構成される VN30 指数は、9 銘柄が上昇、13 銘柄が下落、8 銘柄が変動なしであった。
- BID (-1.30%)、HPG (-1.11%)の 2 銘柄が唯一 1%を超える下落を記録した。
- 上昇銘柄の上昇幅はどれもわずかであった。

セクター・個別株の動き

- DXG (-6.80%) と DXS (-6.98%) は、DXG が既存株主に対して 1 億 5,000 万株を 1 株当たり 1 万 2,000 ドンで売り出すと発表した後、ともに大幅に下落し、ストップ安となった。
- 物流関連銘柄である GMD(+1.08%)、SCS(+6.26%)、VOS(+5.60%)、VSC(+1.89%)は、計画投資省が 2025 年の輸出成長目標を 12%に設定したことが好感されて上昇した。
- 外国人投資家はわずかに 441 億ドンを買い越した。買い越しでは SSI (+0.39%)、MWG (+0.49%)が目立った一方で、BID (-1.30%)の売り越し額は極めて顕著であった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd. (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。